

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

透明度は2.2~3.1mでした。 検鏡の結果、珪藻類が大半を占めていましたが、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で4,100cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で1cells/ml確認されました。
慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
透明度	3.1	2.3	2.2	2.4	2.8
前回透明度	1.9	1.4	2.0	2.2	2.4

プランクトン (cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	カレニア・ミキモトイ	プロセントラム・シグモイデス	珪藻類
中学校前	0m	50	0	1	10,500
	2m	1,500	0	15	5,300
	5m	300	0	57	3,400
目ノクソ	0m	50	0	0	13,100
	2m	4,100	0	8	5,200
	5m	475	0	26	1,100
光松	0m	1,000	0	0	10,600
	2m	2,200	0	2	7,800
	5m	550	1	6	1,200
大鹿	0m	1,700	0	2	7,700
	2m	1,625	0	3	1,700
	5m	250	0	14	850
水試小割前	0m	250	0	0	5,900
	2m	1,300	1	1	2,900
	5m	500	0	0	900
大崎	0m	2,950			
	2m	3,600			



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ(魚類のへい死): 10,000~50,000cells/ml
- ・カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・プロセントラム・シグモイデス(魚類のへい死): 赤潮発生時

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>